

男女共同参画啓発事業

川柳・標語の優秀作品

男女共同参画に関する川柳・標語を募集し、855点の応募をいただきました。たくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。

入賞作品

小学生の部

中高生の部

一般の部

それぞれの
色でかがやく
明るい未来

白根百田小4年
中澤妃穂さん

進もうよ
未来の道へ

甲西中学校1年
笠井夢叶さん

曾孫と孫
家族嬉しい
四世代

桃園地区
常磐 晴美さん

入選作品

ランドセル いろんな色で いいんだよ
小笠原小学校4年 望月 深央さん

見てほしい カラーも一つの 個性です
白根百田小学校4年 米山 陽向さん

赤と青 色で男女の 区別なし
楡形北小学校5年 野田 花音さん

決めつけず 自分らしく 楽しもう
白根源小学校5年 水川 祐那さん

夢かなう どんな仕事も ジェンダーレス
豊小学校6年 織内 凜花さん

偽らず 私は私 認め合おう
楡形中学校2年 花輪 莉恋さん

視野広く 周りを見ながら 思いやり
巨摩高校1年 三枝 暖希さん

性格は 違うからこそ 面白い
巨摩高校2年 竹中 小夏さん

差別の目 なくせばきっと 広がる世界
巨摩高校2年 長沼 里緒菜さん

創るんだ になりたい自分 輝いて
白根高校3年 山形 菜結さん

男女共同参画社会の 推進のために…

南アルプス市は、市民一人ひとりの人権が性別や世代に偏ることなく尊重され、ともに輝き、生きがいのある男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいく決意を表明するため「男女共同参画都市宣言」を行っています。

南アルプス市男女共同参画都市宣言

～男女が共に「個として輝き、共に参画するまちづくりをめざして」～

男女の人権の
尊重とその実現

男女共同参画
による豊かな
地域社会づくり

男女共同参画
プランの
推進体制づくり

男女が共に
自立して支え合う
家庭づくり

男女が平等で
共に働きやすい
職場づくり

南アルプスハーモニープラン推進だより 2023

男と女のハーモニー
Harmony Vol.24
2023年3月発行

〒400-0395 山梨県南アルプス市小笠原 376 本庁舎 1F

市民活動支援課(市民活動支援担当)

TEL 055-282-6493(直通)

URL <https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp>



Facebook



HP

男と女のハーモニー Harmony

南アルプスハーモニープラン推進だより

2023
Vol.24

南アルプス市



南アルプスハーモニープラン推進会議 活動報告

女性団体連絡協議会 活動報告

さんかくニュース/さんかくデータ

一人ひとりのいろいろな色あつめて

明るい未来を彩ろう

内閣府表彰

令和4年度 男女共同参画社会づくり功労者 内閣総理大臣表彰受賞

南アルプスLOCO代表 新津幸氏

豊かで活力ある男女共同参画社会をつくることを目的に、男女共同参画社会に向けた気運の醸成や、各分野において実践的な活動を積み重ね、男女共同参画の推進に貢献してきた方に贈られる男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰を新津幸氏が受賞しました。

新津幸氏は、平成19年に「ママサークル ROMANTIC MOTHERS STYLE」を創出し、仲間とともに自分たちで考え、ママたちも楽しめる子育ての場をつくりあげました。現在は、平成24年に結成した「南アルプスLOCO」での活動をはじめ、地域活性化の取り組み支援等を通じながら、楽しく暮らせるまちづくりをすすめています。

これまでの活動と、今現在進めている人とのつながりを大切にし、人をつなげる活動によって、活気のある地域づくりに貢献していることなどが評価されました。



新津幸氏 インタビュー

「まずは自分が楽しめることを！」

そもそも地域を活性化したい!とか地方創生~!とか...そんな思いはなくて(笑)。目の前の課題を少しずつクリアにしたり、疑問に思うことを自分なりに解釈して表現してみたり。自分の活動で周りの人たちがクスッと笑ってくれたり、ちょっぴり幸せになってくれているんだったら嬉しいです。

南アルプス市は、いろいろな市民活動が活発で自分でやってみようというバイタリティのある地域。へんてこな(!?)人がたくさんいて刺激的ですね。日々「一人ひとりのいろんな思いが重なって、まちはできあがってるんだなあ」と実感しています。昨今、多様な考え方が認められる社会となり、強いリーダーが引っ張るリーダーシップだけでなく、お互いの思いに共感しながらみんなで進めるフォロワーシップが求められるようになりました。相手の立場を考え、まずは自分が楽しく無理せずに! みんなが関わってみたいって思えるようなスタイルの活動をしていきたいです。



毎月市民活動センターで市民活動をサポートするコーディネーターをしています。新しい出会いがたくさんです。



一緒にイベントを主宰する仲間と! うちの地域はおもしろい人材が豊富なんです。みんなが技を持ち寄って楽しいことを実現しています。



広報「南アルプス市」で連載している LOCO マガは10年目。地域にくらす“人”こそおもしろいをテーマに取材をしています。

さんかくニュース

男女共同参画講演会

講師：山内幸雄先生

憲法学者であり、南アルプス市男女共同参画審議委員長でもあります山内先生に、『現代社会でジェンダー平等を進める意義~ 今、私たちができることは~』をテーマにご講演いただきました。

講演には、ハーモニープラン推進会議委員や男女共同参画審議委員などが参加し、ジェンダー差別との向き合い方や、女性にとって暮らしやすい社会は、男性にとっても暮らしやすい社会であることなどについて学びました。

決めつけや、思い込みの
役割分担をなくし
自分らしく生きられる
社会をつくりましょう。



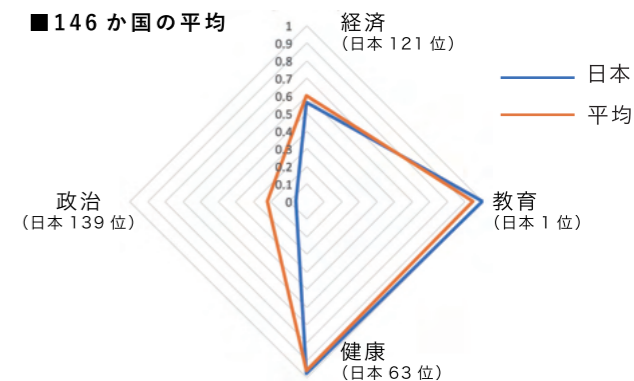
各分野からみるジェンダー・ギャップ指数

毎年、世界経済フォーラムが、男女共同参画を示す指標であるジェンダーギャップ指数(GGI: Gender Gap Index)を発表しています。今年度における日本の順位は、146か国中「116位」となりました。

日本の各分野におけるジェンダーギャップ指数(経済、教育、健康、政治の4分野)を146か国の平均と比較すると、政治分野と経済分野の数値が低くなっています。政治分野では国会議員や官僚の女性割合が低いこと、経済分野では所得や管理職における男女不平等が原因であると言われています。

世界経済フォーラムの『グローバル・ジェンダーギャップレポート2020』によると、政権に女性が占める割合が高い国は、企業のリーダーに女性がいる率も高いことが報告されています。今後、政治分野の改善がすすむと経済分野の改善につながるかもしれませんね。2023年のジェンダー・ギャップ指数はどのようになるのでしょうか。

(令和5年2月末時点)

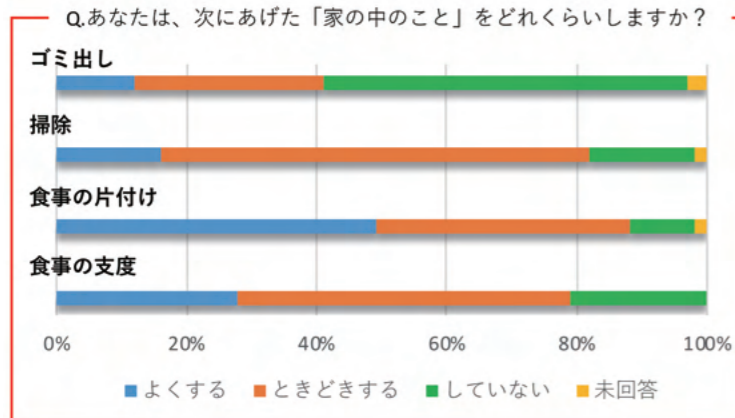


世界経済フォーラム「The Global Gender Gap Report 2022」より作成



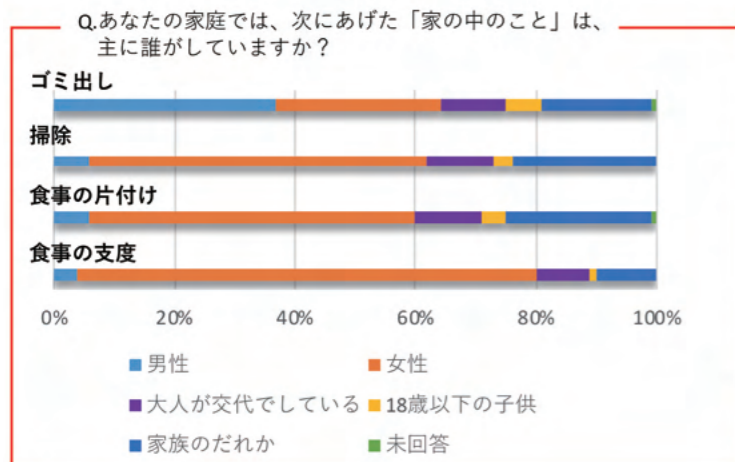
市内中学生592人に聞いた
＜男女共同参画についての意識調査＞

男女平等について、今の中学生の皆さんがどのように考えているか調査しました。



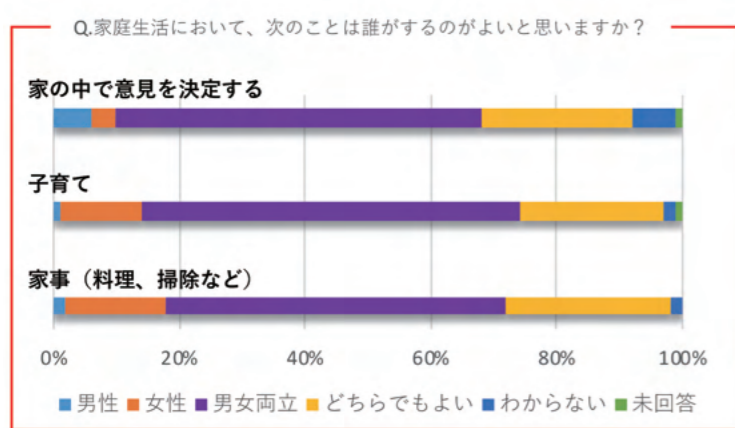
中学生はどのくらい家の中のことをしているの？

ほぼ8割以上の中学生が家の手伝いをしてるじゃんね！！すごいね



家の中のことは主にだれがしているの？

まだ女性が家事をしている割合が多いじゃんね。男女が協力し合う体制が必要だね。



中学生は家の中のことはだれがすればいいと思っているの？

さすが！南アルプス市の中学生！！男女共同参画について理解してくれてるじゃん！！

＜まとめ＞

この結果から、女性が家事をしていることがまだまだ多いということがわかりました。しかし、現代の子どもたちの中では、男女両立の意識が強くジェンダーフリーが深まりつつあります。このような考えを持った子どもたちが大人になったころ、男女共同参画が当たり前の南アルプス市として成長できるように私たち大人も意識づけを強くしていくことが必要ですね。



無意識の偏見・思い込み

アンコンシャスバイアス？

一体どんなこと？私にも関係があることなの？

ここでクイズ！

わたしの親は学校の先生と警察官。きみは？

ぼくの親はボクサーをしてるよ。

じゃあ、お母さんは？

??

ちょっと違和感がありましたか？
「女性らしくない」「男性らしくない」と思いましたか？
みなさんが当たり前だと思っていること、それは、もしかしてアンコンシャスバイアスなのかもしれません。
職場で、地域で、家庭で…アンコンシャスバイアスはどこにでも、誰にでもあることなのです。

まずは！



他の人を傷つけたり、自分自身の可能性を狭めていたり…誰もが「自分らしく」いられるように、まずはちょっと知ってみませんか？

ヒントが見つかるかも



内閣府男女共同参画局
【全体版】性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の解消等に向けた普及啓発用動画

クイズの答え：お母さんがボクサー

先進事例班では、男女共同参画のために行なわれているさまざまな事例の提案と検討を行なってきました。その中でも特に関心の高かった「政治分野」、「男性の育休」について報告します。

政治分野での男女共同参画

女性が政治に参入しないのはなぜ？

●家庭生活と選挙活動、議員活動の両立が困難

仕事や家庭生活（家事・育児・介護等）の負担が大きく、選挙活動や議員活動にける時間が少ない。



●自分の力量に自信が持てない

政治は男性が行なうものという固定的な考え方が強く、女性が政治分野で活躍できるというイメージが湧きにくい。



●セクシュアルハラスメント

地方議会議員の約57%の女性が「議員活動や選挙活動中に有権者や支持者、議員等からハラスメントを受けた」と回答。



政治分野における男女共同参画の推進に関する法律って？

2018年施行

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」

男女の候補者の数ができる限り均等になることを目指すことを基本原則とし、各団体が目標数を定めることなどを掲げる法律です。2021年には改正があり、具体的な対策に近づきました。

成果は？

施行後の選挙を見ると、2021年10月の衆院選の全候補者に占める女性の割合は約17.7%（前は17.8%）であったものが、2022年6月の参院選では約33.2%（前は28.1%）に増加しています。

男性の育休取得

POINT 01 雇用環境整備の義務化
研修の実施や情報周知などが義務付けられました。

POINT 02 個別の周知・意向確認の義務化
育休取得の意向確認が義務付けられました。

POINT 03 有期雇用労働者の育休取得
有期雇用労働者も育休を取得しやすくなりました。

POINT 04 産後パパ育休
出生後8週間以内に男性が取得できる育休ができました。

POINT 05 育休の分割取得
分割して2回育休が取得できるようになりました。

POINT 06 育休取得状況公表の義務化
従業員数1000人以上の企業は育休取得状況の公表が義務付けられました。

	育児休業制度 (改正前)	育児休業制度 (2022年10月～)	産後パパ育休 (2022年10月～)
対象期間	原則 子が1歳 (最長2歳)まで	原則 子が1歳 (最長2歳)まで	子の出産後 8週間以内に 4週間まで
分割取得	原則 分割不可	分割して 2回取得可能	分割して 2回取得可能
休業中の 就業	原則不可	原則不可	申し出により 就業可能な 場合あり
休業延長の タイミング	1歳・1歳半 の時点のみ	配偶者の 休業予定に合わせて 柔軟化	—

2021年6月
育児休業法の改正

ふたつの事例についてご存じでしたか？
社会のかたちに合わせて、現在進行形で新たな法律や制度ができたり、改正されたりしています。
ただ制度ができたからといって、社会は劇的に変化しないかもしれません。「自分は使わないから関係ない」「周りに当事者がいないからよく知らない」とせず、一人ひとりが知識をもって少しでも意識を変えることが、さまざまな人が共同参画する社会への第一歩なのではないでしょうか。

【参考】

- ・内閣府 男女共同参画局
「女性の政治参画への障壁等に関する調査研究報告書」
https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/pdf/seijisankaku_research_r02.pdf
- ・厚生労働省
「育児・介護休業法について」
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html>

令和4年度南アルプス市

女性団体連絡協議会

活動報告

こんにちは。南アルプス市女性団体連絡協議会です。

私たちは、市内各地区の女性団体のネットワーク組織です。男女共同参画の推進、子育て支援、食育、防災、農業等幅広い分野で、暮らしにかかわる身近な課題や問題の改善に取り組んでいます。



令和4年11月16日（水）

南アルプス市議会女性議員との交流会の開催 講演会とワークショップ『アンコンシャスバイアスって何？』

講師 山梨県立大学名誉教授 池田政子先生

『アンコンシャスバイアス』と聞きなれない言葉は、私たちの生活の中にある『無意識の思い込み』でした。それは、幼少期の生活や、集団の中で、無意識に脳に刻み込まれてしまう固定概念のことでした。

女性だから、男性だからと決めつけてしまっている自身に驚きながらも、日々の生活で見直すことができることを学びました。



令和5年1月11日（水）

南アルプス市女性団体連絡協議会市民座談会の開催

金丸市長から、市政の現状や展望等について説明を受けた後、女性団体連絡協議会からは道水路や耕作放棄地、増加する空き家の鳥獣害問題といった生活する上で身近な課題から地球温暖化対策まで、多岐に渡って質問しました。市長から直接方針や考え方を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。



令和5年2月12日（日）

ハーモニープラン推進会議・南アルプス市女性団体連絡協議会合同学習会 講演『地域の中でできる男女共同参画とは』

講師 山梨県男女共同参画・共生社会推進統括アドバイザー 萩原なつ子先生

この講演を通し、『女性が地域を変える。その女性を応援できる男性がいることでさらに地域が変わる。地域の中にある慣習、慣行、同調、圧力がある限り固定的な考えは変わってこない。』とお聞きしました。この講演会が良い刺激となり、身近なところから少しでも意識を変えることができるような声かけの大切さを教えていただきました。

